



二〇一一・三・一一・十四時四十六分のあの悲惨な東日本大震災より、早や三年が近づいている。孤独死・自死の話が耳にすると何とも耐えられない。何度三陸海岸に行っただか覚えてはいないが、未だ見つからぬ我が子を懸命に捜される人に出会う。

行方不明の人は現在二千六百五十二名。幼いお子さんが多く、親御さんのことを思うと言葉を失う。子供を亡くした親御さんにとっては、決して忘れない、忘れられないことである。況や未だ見つからぬ我が子の場合は、なおさらである。

お地蔵さんまよ

東北福祉大学学長 萩野 浩基

卑小な私には何もできず何も言えない。唯、唯、祈り回向するしかない。ところ、この大震災の後遺症は止まることを知らない。先の見えぬ原発・放射能、帰る所を未だに失っている方々。復興・復興との声は聞くが、遅々として進まず、心の病はますます深く広がっている。原発の災害は明らかに人災である。人災と天災の違いは歴史的事実か否かである。歴史とは人間の創り出すものであり、天災とは異なる。この大震災を基に今まで日本が、人類が歩んだ歴史をあらためて振り返ってみるべきである。これまであまりにも便利さ、効率、豊かさを公分母として追い求め大切なものを疎かにしたのではなからうか。お母さん地藏さん、二人の子供地藏さんを前にして合掌している方の姿を見ると胸に迫る。何とも言えぬ切なさ、また「何となく風のごとく」「やすらぎ」を感じる。どこかで、私達と共に生きていけると、ここらよぎる。有限の世界に生きる人間と

は実に弱いものだ。悩み、苦しみ、絶望に至るのが人間の証しかも知れない。「死を覚悟しても、心臓は生きると鼓動する」と極限状況に生きる人の声。母子三体的お地蔵さん。そしてその前で合掌し祈る人々の姿への思いは言葉では表せない。「何事のおはしますをば知らねども、かたじけなさに涙こぼるる…」の句が思い浮かぶ。(西行と言われるが作者不明) 「心もてはかることなかれ、言葉もて言うことなかれ」(道元)。自然に仏の世界、何かを越えた深い世界に導かれる。今、私、私達は確かに生き、生かされている。母地藏の合掌と私や私達の合掌から、一瞬の「やすらぎ」とわずかではあるが「生きる力」が自然に湧いてくる。お地蔵さま「ありがとう」…合掌。



現地活動報告

岩手県 陸前高田市と久慈市に建立を

岩手県の今期建立目標は、陸前高田市と久慈市の二カ所です。陸前高田市では、多くの賛同者と出逢うことが出来ました。地元新聞や地元ラジオ局の協力のもと、より多くの賛同者と共に皆さんに愛されるお地蔵さんを作り上げていきたいと思っております。久慈市には、今、全国的に最も注目度の高い海岸があります。久慈琥珀やウニなどの地域の特産も全国に発信、ロータリークラブの方々のご協力をいただきながら建立に向けて活動していききたいと思います。

岩手担当 木村尚徳・無着真道 佐藤宗厚



久慈市のつりがね洞

福島県 福島第一号を南相馬市に

福島県の状況は、津波の被害だけではなく、原発事故の影響が色濃く残っています。そのようなかで南相馬市、相馬市、新地町の各自自治体担当者や関係者への訪問を行いました。各自自治体には建立地の情報提供など協力要請をお願いし、復興計画の進捗状況を説明いただきました。また、被災された保育園の園長先生や家族を亡くされた方から当時の状況をお聴きしました。心の拠り所となるお地蔵さんの建立を希望されておりました。本年度は、南相馬市に福島県の一基目となるお地蔵さんを建立したいと考えており、準備を進めているところです。

福島担当 佐藤靖之

山形県 平成25年度総会の開催

7月27日(土)に山形市の遊学館において平成25年度総会が開催され、前年度の事業報告、決算報告、および新年度の事業計画が発表されました。新年度の主な計画としては、認定特定非営利活動法人制度の申請、そして6基の建立(岩手県陸前高田市・久慈市/宮城県名取市・亘理町・東松島市/福島県南相馬市)を目指します。



募金箱設置しています

前号で紹介した募金箱を、現在山形市内33カ所に設置しています。皆さまからのご協力をよろしく願います。



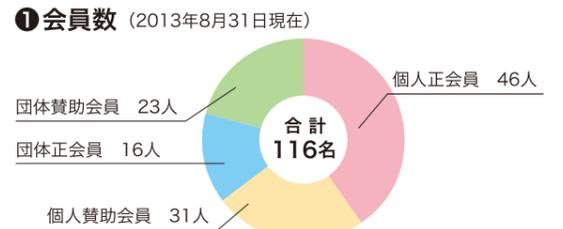
寄付金のお願い

銀行口座 楽天銀行 第一営業支店 普通預金 7152474
口座名 特定非営利活動法人 被災地に届けたいお地蔵さんプロジェクト
郵便振替 口座番号 02250-0-118523
口座名義 被災地に届けたいお地蔵さんプロジェクト

編集後記

南相馬市の沿岸部で行方不明者の捜索にあたるボランティア団体の方と出会いました。自身も両親と子供二人を亡くされ、震災発生時の支援の遅れや、今でも海岸での遺品探しが続くという知られざる被災地の一面を知りました。私たちは被災者の声を聴くことでしか、被災時の本当の姿を知ることができません。被災者の声に耳を傾け、遺族の苦しみや悲しみを少しでも和らげたい。私たちプロジェクトの原点を思い出させてくれました。

2012年度決算報告



② 貸借対照表 2013年5月31日現在

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額(税込)(単位:円)	金額(税込)(単位:円)	
流動資産	20,570,453	流動負債	1,544,618
固定資産(構造物)	2,110,185	正味財産	21,136,020
資産の部合計	22,680,638	負債・正味財産の部合計	22,680,638

③ 収支計算書 自2012年6月1日 至2013年5月31日

科目	金額(税込)(単位:円)
経常収入	
事業収入	1,536,000
会費収入	1,490,000
寄付金収入	11,078,796
助成金収入	100,000
受取利息収入	2,012
経常収入合計	14,206,808
経常支出	
事業費	5,516,153
管理費	581,908
経常支出合計	6,098,061
経常収支差額	8,108,747
その他の資金支出(構造物購入)	2,131,500
当期収支差額	5,977,247
前期繰越収支差額	12,136,908
次期繰越収支差額	18,114,155

特定非営利活動法人 被災地に届けたい 「お地蔵さん」プロジェクト

● 発行人/題字: 葦原正憲 ● 編集: 長岡高之・菊地宏幸

本部 〒990-0042 山形県山形市七日町3-3-5
事務局 〒990-2345 山形県山形市富神台26番地

TEL:0120-941-116 FAX:0120-941-117

平成地蔵讃歌

宗教学者で当プロジェクトの賛同者でもある山折哲雄先生が、お地藏さんの詩を書いてくださいました。その詩をご紹介します。

平成地蔵讃歌 山折哲雄

— 3・11のご尊霊ご遺族に捧げたまつる —

お地藏さんは 春の訪れ
野や山に草が生え いのちの若芽が吹き出し
花が実をつけるとき
お地藏さんが 土の中から小さな頭を出し
まん丸い顔をみせて につこり笑う

お地藏さんは 夏の訪れ
陽がキラキラ輝き 空気が乾き
人の肌を焼くとき
お地藏さんは 流れ落ちる汗を拭って下さる
涼しい風を送り そしらぬ顔をして 立っている

お地藏さんは 秋の訪れ
小鳥がさえずり 虫が鳴き 夕日が落ちるころ
お地藏さんは とぼとぼ歩き
いつのまにか前になり後になり ついてくる
ひっそり静かに ついてくる

お地藏さんは 冬の訪れ
樹々からは 花や葉が落ち ものみな枯れて
こがらしが吹きつるころ
お地藏さんは 手拭いを頭に
わらぐつをはいて あらわれる

お地藏さんは
いつも変幻自在だ そして神出鬼没
カミさまのような 声を出し
ホトケさまのような 掌をさし出す

お地藏さんは
大地が震えるときも
大海原が荒れるときも
いつもいつも そばに立ち
風のように舞い降りてくる

地蔵せんべい
地蔵まんじゅう
飢饉のときの守り神
日照りのときの守り本尊
冷害のときの湯タンポ

地蔵盆
地蔵祭り
子どもたちのためのフェスティバル
この世から去った子どもたちのための道案内

この世からあの世への山の辺に
あの世からこの世への海の辺に
お地藏さんが ニコニコ立っている
手招きしながら 立っている
お地藏さんは 物をいわない
お地藏さんは 黙って立っている

もっと そばに近寄ってみよう
その口元に耳を近づけてみよう
お地藏さんの声がきこえてくる
お地藏さんの言葉がきこえてくる

いのちの対話が始まるんだよ
別れ別れになってしまった親と子
顔を見合せることができなくなった夫と妻
手を握ることができなくなってしまった
お爺さん お婆さん
そのとき
お地藏さんの口の奥からこぼれてくる声
低い 低い声 静かな言葉 優しい言葉

いのちの対話が始まるんだよ
死んでしまった人と生き残った人の
その出会いの場所
その場所に お地藏さんが立っている
その場所に お地藏さんが立っている
目をあけて あたりを見廻してみよう
右をみても 左をみても

お地藏さんが立っている
海や山にお地藏さんが
つくしのように タンポポのように 立っている
一面の 一面の 花畑のように

寒い日もあれば 暑い日もある
暖かい風も吹けば 冷たい風も吹く
照る日もあれば 曇る日もある
花が咲く日もあれば 花が落ちる日もある

お地藏さんは いつでも
ニコニコ笑いながら立っている
お地藏さんは いつでも
ニコニコ笑いながら立っている
明るいお顔をして 立っている

お地藏さんは 冬の訪れ
お地藏さんは 秋の訪れ
お地藏さんは 夏の訪れ
お地藏さんは 春の訪れ



山折哲雄氏 / 宗教学者、評論家

1931年米国サンフランシスコ生まれ。43年岩手県花巻市に疎開。54年東北大学文学部卒業。69年春秋社入社。76年駒澤大学文学部助教授、77年東北大学文学部助教授、82年国立歴史民族博物館教授、88年国際日本文化研究センター教授、97年白鳳女子短期大学学長、2000年京都造形芸術大学大学院長、01年国際日本文化研究センター所長。著書に「日本宗教文化の構造と祖型」「仏教とは何か」「臨死の思想」など多数。

現地活動報告

お地藏さんプロジェクトでは、地区担当者が地域の方々と連携し、お地藏さん建立に向けて話し合いを進めています。

宮城県 今期3基の建立を目指して

今年度、宮城担当は3基の「お地藏さん」建立を目指します。

1基目：名取市 現在閑上地区の皆さん、北釜地区の皆さんと話し合いを行い、実行委員会を立ち上げ、閑上地区へ建立方向で検討中です。

2基目：亶理町 現在町役場担当者を交え、吉田地区の地元の方々を中心に実行委員会を立ち上げ、亶理町吉田支所内へ建立の方向で、最終段階までできております。

3基目：東松島市 野蒜地区内へ建立方向で、実行委員会が立ちあがっており、現在建立場所の最終検討に入っております。

今後、それぞれの地区とも首長へ訪問し、場所や時期の確認を行い、早期建立を目指したいと思っております。また、仙台、気仙沼、南三陸へも訪問を行い、次期建立の足場を固めたいと思っております。

宮城担当(柴田一夫・土田秀頼・金山敦夫)

売上の半分をお地藏さん建立に「復興せんべい」を販売

曹洞宗の全国奉詠大会が、5月29日・30日に宮城県利府町の「グランディ・21」にて開催され、当プロジェクトは、山形のさがえ屋さんの協力のもと製作した「復興せんべい」の販売を行いました。

販売においては女優の吉沢京子さんも応援に駆け付けてくれ、全国から集まった方々から、2日間合わせて800セットをお買い上げいただきました。売上の半分がお地藏さん建立のための資金となります。ありがとうございます。



復興せんべいはいかがですか(中央が吉沢京子さん)

中尾ミエさんが石巻を訪問

9月18日、歌手の中尾ミエさんが石巻のお地藏さんを訪れました。

中尾さんはコンサートのたびに当プロジェクトのPRと募金活動をしてくださっています。いつも本当にありがとうございます。



中尾ミエさんを囲んで